

envu™

殺菌剤 芝用

 シグネチャー®  
WDG

予防散布で芝を美しく

登録商標 第5233403号



# ストレスガード製剤技術を採用 少水量散布を実現

## 特長

- ストレスガード製剤技術を採用した殺菌剤
- 粒の大きい製剤で粉立ちを軽減
- ピシウム病・赤焼病に対する高い予防効果
- プログラム散布により夏場のベントグラス病害発生を抑制
- 美しく、健康なターフの形成に貢献

### ストレスガード製剤技術とは？

ストレスガード製剤技術は、UVB を効果的に遮断しつつ光阻害を緩和する、バイエルの独自技術です。この製剤技術を用いた殺菌剤を使用することにより、病害の防除はもちろん、芝のストレス軽減や色合いの向上など、ターフクオリティを向上させることが可能となります。

## グリーンの健康を維持するためには予防散布が重要

シグネチャーWDGで春～夏に発生するピシウム病・赤焼病を抑制

病気の発症率を抑えて夏を乗り切る体力を維持

予防効果の最適化へ



ピシウム病



赤焼病



高い効果を引き出す  
薬剤ローテーションが  
重要ポイントです

## ピシウム病に対する効果

最も効果が高いとされる薬剤と比較しても同等またはそれ以上の効果を発揮

### 圃場試験

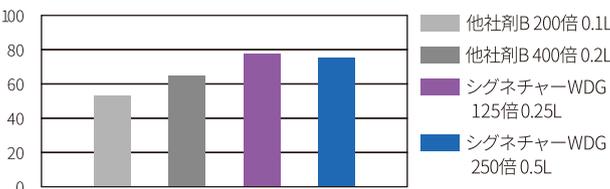
(%) 防除価



試験場名	東日本グリーン研究所
試験場所	程ヶ谷カントリークラブベントグラスナーセリー
対象病害虫発生状況	中 ※無処理の発病面積率11%
耕種概要	クリーピングベントグラス品種：ベンA-1) ナーセリー
区制	1区4㎡ 2連制
処理年月日・方法	平成20年7月5日 供試薬剤を所定量の水で希釈し、園芸用ジョロで散布
調査月日・方法	7月18日に発病面積率を目測で求め、防除価を算出

### ポット試験

(%) 防除価



試験場所	岐阜大学流域圏科学研究センター実験室
対象病害虫発生状況	甚 ※無処理の発病面積率97%
耕種概要	クリーピングベントグラス品種：グランプリ) ナーセリー
区制	1区6ポット
処理年月日・方法	平成20年10月28日 岐阜関CC ベントグラスナーセリーにおいて薬剤をスプレー散布、ソッドを 実験室に持ち帰り、薬剤処理1日後にPythium graminicolaを接種
調査月日・方法	11月4日に発病面積率を目測で求め、防除価を算出

## 殺菌剤の予防散布の重要性

生物ストレス ※虫害は除く。

- 病害
- ・ピシウム病・赤焼病 など
- 藻類 ●コケ

夏場の病害は回復に時間を要する / または回復できない

病徴が現れる前に病原菌は活動し、その密度を徐々に上げている

ほとんどの殺菌剤は予防の方が効果が高い

さらに、薬剤の効果を引き出すための基礎として...

多系統薬剤間のローテーション散布  
(耐性菌対策)

的確な病害診断による  
散布薬剤選定

より良い耕種的手法の導入

以上、すべてが予防散布の重要なポイントとなります。

## ストレスガード製剤予防散布プログラム例

★ ストレスガード 製剤

散布時期	4月		5月		6月		7月			
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
薬剤名	★ シグネチャー WDG (1)		★ ミラージュ (0.5)	★ シグネチャー WDG (1)	プロテクト WDG (1)	★ インターフェース (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ ミラージュフロアブル (0.5)	★ シグネチャー WDG (1)
	TPN剤		プロテクト WDG (1)	TPN剤	TPN剤		TPN剤	TPN剤		
	ピシウム剤A (Qii)							ピシウム剤B (イソキサゾール)		ピシウム剤 (ローバフロアブル)

散布時期	8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
薬剤名	★ インターフェース (1)	★ シグネチャー WDG (1)	プロテクト WDG (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ シグネチャー WDG (1)	プロテクト WDG (1)
				TPN剤	TPN剤	TPN剤
	ピシウム剤C (テトラゾリルオキシム)	ピシウム剤D (フェニルアミド)	ピシウム剤A (Qii)	ピシウム剤E (カーバメート)		

※ ( ) 内の数字は薬量を表し、単位はmL/m<sup>2</sup>です。  
 ※ストレスガード製剤及びプロテクト WDGの散布水量は100mL/m<sup>2</sup>を想定しています。  
 ※シグネチャー WDGとプロテクト WDGの混用はできません。  
 ※複数の薬剤をタンクミックスする場合、投入の順番は①展着剤→②液剤→③乳剤→④フロアブル剤→⑤水和剤です。  
 ※初めてタンクミックスを行う組み合わせの場合、事前にバケツ等で混用試験を行うことをおすすめします。  
 ※散布例はピシウム病の発生圧が高いケースを想定しています。ピシウム剤については、地域・発生圧・気象条件等により適宜散布回数や時期を調節してください。

### 予防散布プログラムのポイント

- 5月中旬のミラージュフロアブル+プロテクト WDGで、炭疽病の菌密度を下げておくことがその後の炭疽病予防に効果的です。
- シグネチャー WDG は複数回散布することによって効果を発揮しますので、梅雨明けまでに3回以上、お盆明けまでに5回以上散布しておくことをおすすめします。
- ストレスガード製剤(シグネチャー WDG・ミラージュフロアブル・インターフェースフロアブル)は紫外線の強くなる5月頃からの散布が効果的です。
- 散布間隔は10日～14日を目安に散布してください。

**⚠ 他剤と混用する場合は凝集や沈殿を生じる可能性があるため、先に他剤の希釈液を作り本剤を一番最後に加えてください。**

## 適用病害及び使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ホセチルを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (バントグラス)	赤焼病 ピシウム病	100倍	発病初期	8回以内	1㎡当り0.1L 散布	8回以内
		125倍			1㎡当り0.25L 散布	
		250倍			1㎡当り0.5L 散布	

## 有効成分と性状

種類名	ホセチル水和剤
商品名	シグネチャーWDG
有効成分	ホセチル 79.4%
性状	青緑色水和性細粒
荷姿	1kg×10袋

## 人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

人畜毒性 (急性) 普通物*	経口	ラット(♀)	LD <sub>50</sub> >2,000mg/kg
	経皮	ラット(♂♀)	LD <sub>50</sub> >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
水産動植物に 対する影響	コイ		LC <sub>50</sub> 137mg/L (96hr)
	オオミジンコ		EC <sub>50</sub> 129mg/L (48hr)
	藻類		ErC <sub>50</sub> 15.3mg/L (0-72hr)

\*「毒物および劇物取締法」に基づく「毒劇物の指定を受けない物質を示す」

 効果・薬害等の注意事項

- 散布液を調製する場合、本剤の一部が水面に浮くことがあるので十分攪拌してください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 夏期高温時の連用散布は注意してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守り、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

 貯蔵上の注意事項

- 密閉し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管してください。  
(高温・吸湿しやすい条件下では、物理的性状が劣化するおそれがあります。)

 安全使用上の注意事項

- 誤食などのないように注意してください。
- 散布液調製時及び散布時には保護メガネを着用して薬液が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 公園等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後最小限その当日に関係者以外は立ち入らせないようにしてください。小児、人畜等に留意してください。
- 食べられません。
- 有効年月内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



エンバイロサイエンスジャパン株式会社

〒100-0004

東京都千代田区大手町 1-6-1

[www.jp.envu.com](http://www.jp.envu.com)


お問い合わせ先